

事業名		県営農村地域防災減災事業(ため池補強)		路河川名等			
事業毎の番号		6	市町村名		麻績村		
			箇所名(ふりがな)		大沼池(おおぬまいけ)		
事業概要	事業目的	近年、大規模な地震が頻発しており、今後も多くの災害の発生が危惧されている。本地区のため池について、老朽化が進行していることや耐震性が不明であったことから、平成25年度に耐震性調査を実施したところ、堤体上下流の法面で、地震時に必要な耐震性を有していないことが判明した。 このため、早急にため池の耐震補強を行い、災害の未然防止による、地域の防災安全度の向上と農業生産の維持及び農業経営の安定を図ることを目的とする。					
	しあわせ信州創造プランにおける位置付け	4-1 地域防災力の向上		事業実施の根拠法令等	土地改良法		
	関連する事業、計画等	第2期長野県食と農業農村振興計画、第7次土地改良長期計画、長野県地域防災計画					
	保全対象・範囲 受益対象・範囲	保全対象:農地17ha、人家30戸、公共施設(国道、県道) 受益対象:農地33ha					
	着手年度	平成29年度	事業期間	3年間	事業費(千円)	財源内訳(千円)	
	完成年度(見込み)	平成31年度	費用対効果	2.3	国庫	その他 県債 一般財源	
	全体事業内容(主な工種)	ため池工 N=1箇所(堤体補強 L=65m)		150,000	82,500	16,500 45,000 6,000	
	年度事業内容(主な工種)	ため池実施設計 一式		10,000	5,500	1,100 3,000 400	
	事業効果	直接的効果(定量的・定性的)	作物生産効果(干ばつ被害による減産が防止できる) 災害防止効果(ため池の決壊による農地、農業用施設、農作物、人家、公共施設等への被害を防止できる)				
		間接的効果(定量的・定性的)	優良な農地が保全されるため、国産農産物の安定供給、地産地消が図られる。 ため池の周辺景観が保全され、聖山高原県立自然公園の一部として観光資源となる。				
評価の視点	必要性	○ 保全対象の人家戸数 : 30戸 ○ 保全対象の公共施設 : 国道403号、主要地方道丸子信州新線 ○ 保全対象の農地、農業用施設 : 農地17ha ○ 保全対象の避難路等 : 有(重要施設)			評価	A	
	重要性	○ ため池依存度 : 依存度 中 ○ ため池受益面積 : かんがい面積 33ha ○ 地域防災計画上の位置付け : 県の地域防災計画に位置付け			評価	B	
	効率性	○ 費用便益比(B/C) : 2.3 ○ 事業期間 : 3年間(H29~H31) ○ 工法等の比較検討 : 耐震工法の比較検討を実施			評価	A	
	緊急性	○ 危険度調査結果 : 平成25年度に実施した耐震性調査の結果、耐震性を有していない ○ 過去の被災履歴 : 5年以上前に被災有 ○ 応急対策の実施状況 : 低水管理を実施			評価	A	
	計画熟度	○ 事業情報の共有 : H26.8 水利組合および関係地区住民に説明会を実施 ○ 地域の取り組み : H26.10 村から要望あり ○ 地域の合意形成 : H26.8 説明会にて合意形成が図られた ○ 住民との協働 : 水利組合で維持管理を行っている			評価	B	
	部意見	災害発生時の下流域への被害は甚大であることが予想され、被害を未然に防止するためには、早急な対策工事が必要である。	行政改革課意見	耐震調査の結果、堤体が耐震性を有していないことが判明している。地震時に堤体が決壊した場合、下流域への影響も大きいことから、必要性、重要性が高く、緊急性も認められる。	評価結果	○	総合評価

事業概要説明図表

事業周辺環境

①事業実施に至る歴史的経緯・社会的背景	本地区ため池は、昭和39年に築造され、平成13年度に県営中山間総合整備事業により余水吐及び波除護岸の改修を行なわれているが、今までに耐震性の点検を行なわれていなかった。このため、平成25年度に堤体の耐震性点検を行ったところ、地震時に堤体の安定性が確保されていないことが判明したため、耐震対策を実施し、下流域の安全対策を図る。
②地域からの要望経緯及び地域の関わり	耐震性点検の結果を受け、麻績村より地元関係水利組合、関係地区住民へ説明を行い、麻績村より耐震対策の実施要望があった。また、耐震対策が実施されるまで、地元水利組合の管理によりため池の水位を低下し応急対策を行っている。
③事業説明等の経緯	・H26.8.19に大沼聖湖四区水利委員へ耐震性点検の結果について説明 ・H26.8.25に麻績村議会へ耐震性点検の結果及び今後の対応について説明 ・H26.9.6に地元地区の住民を対象に耐震性点検及び今後の対応について説明
④他事業・プロジェクトとの整合、関連	第2期長野県食と農業農村振興計画、第7次土地改良長期計画、長野県地域防災計画に基づき、ため池の耐震補強を行うことで、災害の未然防止による地域の防災安全度の向上と農業生産の維持及び農業経営の安定を図る。
⑤自然環境・生活環境への影響と配慮	本地区のため池を含む周辺地域は、聖山高原県立自然公園に指定されており、また、別荘地となっているため、現状の景観維持に努めると共に、工事期間中、重機械の振動・騒音・排出ガス対策のため、早期及び夜間の作業を自粛し、排出ガス対策型の機械を使用する。
⑥地域活性化への影響と配慮	災害が未然に防止されることにより、優良な農地が保全されるため、国産農産物の安定供給、地産地消が図られる。 また、ため池や周辺景観が保全されることにより、観光資源として地域の活性化につながる。
⑦その他	特になし

ため池全景

堤体(上流)

下流域状況

事業代表地点の緯度経度	北緯:N 36° 29' 20.3"
	東経:E 138° 02' 53.9"